

県立学校新任進路指導主事研修を実施しました。

令和2年6月2日（火）に「県立学校新任進路指導主事研修」を実施しました。

午前中は、高等学校教育課の山下智之主査と県立豊明高等学校の鈴木正博校長からそれぞれ、「進路指導に求められていること」、「進路指導主事に期待されること」についてご講義いただきました。新型コロナウイルス感染防止のため、受講者を2会場に分け、中継システムでつなぐ形での実施となりました。



午後は、「全日制普通科」、「全日制専門学科・総合学科」、「定時制及び通信制」、「特別支援学校」の4班に分かれて、各校におけるキャリア教育を推進するに当たっての課題について、研究協議を行いました。

講義・研究協議を通じて、進路指導主事の役割やキャリア教育推進等についての理解を深めることができました。

【受講者の声】

- 今一番知りたいことを社会の背景から具体的なTips、考え方まで丁寧にわかりやすくご指導いただけた。
- 進路指導主事としての基本的な姿勢や指導の在り方、今後求められるキャリア教育の基本理念について再確認することができた。



- 他校で同様の取組があっても、そのアプローチに違いがあり参考になった。課題についても共通部分があり、有意義だった。
- 他校の取組から、本校でも実践できそうなことや、参考になることがあった。様々なコンテンツや情報を使用しながら、進路活動を進めていきたい。

- どんな学校行事であれ、すべてが生徒のキャリアにつながっている。この意識を全教員がもって指導に当たれるよう、教員間の意志統一をしていきたい。
- なぜそのような企画が行われているのか。形式的にキャリア教育にかかわる企画を展開するのではなく、その目的を共有するようなシステムの構築や、それぞれの企画を単発ではなく、系統的に結び付けていくことを考えていきたい。

